

まえがき

「あの、僕。会社を辞めてピエロになります」

ソファーと机しかない殺風景な応接室で、僕は上司に切り出しました。
40代前半の上司は、

これでもかかっていうぐらい、キョトンとした顔をしていました。

沈黙の時。

時計の音だけがカチカチと聞こえます。

しばらくして、彼の口から出た言葉は、

「あのー、お前、最近忙しすぎたんじゃないか？
ちよっと、うん。休みを、取ったほうがいいぞ。」

目黒のほうにな、評判のいいメンタルヘルスのクリニックがあつてな……」

この本は、脱サラピエロとなった僕が、脱サラを推奨するわけでも、

「一緒にピエロになろう」とピエロの魅力を語るわけでもありません。

好きなことで生きていきたい。でも、なかなか踏み出せない。

そんな想いを持っている人に、

「こんな生き方もあるよ」と、僕が歩んできた道を少しだけ紹介しています。

こんなアンケート結果があります。

次の質問は、アメリカで90歳以上のご老人に聞いたものです。

「90年の人生を振り返って唯一後悔していることはなんですか？」

これに対して、なんと、90%の人が同じ答えでした。

それは……、

「もっと冒険しておけばよかった」

出典…『あした死ぬかもよ？ 人生最後の日に笑って死ぬる27の質問』ひすいこたろう著 2012年12月25日

すべてが順風満帆。

何不自由なく生きてきた男が上場企業を脱サラしてピエロになり、

悪戦苦闘しながらも、

毎日、面白おかしく、楽しみ生きているさまをつづつたのが、

この本です。

何かを成し遂げたわけでも、

何かパフォーマンスでの受賞歴があるわけでもないけれども、

自分が死ぬ間際になっても、
後悔することはないだろうな、

というだけのピエロが、

世間に需要があるのかどうか深く考えもせずに、
半生を語ります。

みなさま、しばらくお付き合いいただけたら幸いです。

脱サラピエロ 豊田 淳